

ドライブレコーダー事業の概要

1 ドライブレコーダーとは？

走行中に自動車の前方を常時撮影するビデオカメラです。前面ガラスに両面テープで固定します。常時録画モードとイベント録画モードがあります。

・常時録画モードでは、エンジンがかかっている間、常時録画していて、データはいっぱいになると上書きされ消えてしまいます。

・イベント録画モードでは、事故で何かにぶつかった、急ブレーキを踏んだといった衝撃に反応し保存します。常時録画とは違う領域に保存し、上書きされにくい特徴があります。

2 ドライブレコーダー設置の目的

- (1) 実際の事故やヒヤリ映像を見ることで安全運転指導に使用します。
- (2) 運転者が急発進、急加速、急ハンドルなどの状況を意識することで危険運転が減らし、事故予防を図ります。
- (3) 犯罪発生時に付近を走行していた場合、その記録映像を警察に提出し、捜査資料として活用します。

3 ドライブレコーダーの使用開始時期

平成26年4月1日（火）

4 ドライブレコーダーを設置する公用車の台数

58台

5 ドライブレコーダーの性能

- (1) HD画質 解像度 1280×720
10メートル先の自動車のナンバープレートが読める程度
- (2) 撮影可能時間 約2時間

6 ドライブレコーダーを導入している自治体

坂戸市 平成25年8月 約100台

東松山市 平成25年11月 約120台